| 第二 都長 公解 鷹門 指輔(火曜) 変 第一都長 侯尉 西郡 從德(火曜) 変 郷 真露の結果左の如く決定した。

【東京電話】資展院に於ける部長

第二部長 男爵 医谷

衆院は議長並に 副議長候精選舉

特別接倒は、北支事態により異 東京正当。五個内閣初の第七十 れて 成民南 第間において振術 派の態度を決定し、引取き正 結果常置したる新聞或は午前 長関撃を行ふべく諸様に意果 一角を用き正制路及関撃に臨

召集日の

東京出語】召集日の関旗院は中 原理三百八名本館福温に参集、ル時三子振論、松平編長をはて

部職の決定報告を受け引擎き各 で確認に登集、長が記ら長と

族院は成立致しました、よつてこ 星一氏政友入り

紹介で政友圏に入城の手機をと 士显一氏は、廿三日金光代稿士 東方議長候補决定

合流し歴長に小山松春氏、副語長 軽につき閣談の結果、既民商気と「東京電話」東方館は正副議会選

投票機数四二二票登金を置りを行ふ所くて開票の結果 とぼし先づ選挙に入り本議官初の

催土社本

版じて記退セす、削線の土須益々、選を終つつた軍用列車は暗頭に宣

の手間きを丁して成立を告げ、一部に緊張した情勢の下に二十三日

手続きを丁した

貴族院

語語・学士は「1014後 11 年は飲茶態度を眺めす陣地の御修「太事敷の職大、不職大に重大なる」しつゝあり、更にまた中軍委員職・不たい「那箇の抽象方法は議長に「任き、職を織みてゐる屋源護方面の支那「暗窓なり」と緊語してゐる一方今、つて各地よりの神難以を蓄み頂下、那箇の抽象方法は議長に「任き、職を織みてゐる屋源護方面の支那」暗窓なり」と緊語してゐる一方今、つて各地よりの神難以を蓄み頂下。 **東田の物類を強べ、大いて提供 は井二日中に旗型すべしと言って、養地なり、糸に東と経亡を共にし 悠に劣め、遙線を屋面間に下帆船を削まります。 送着の多大なの間と は呼び車大能響を争んである。 即 電ぶの伝教として変れざらを元し に発動職の解説と行為なからんことを増するもので 教は至く職者を争んである。 即 電ぶの伝教として変れざらを元し に発動職の解説と行政人権を削まります。 選問の多大なの間と は呼び車大能響を争んである。 即 電ぶの伝教として変れざらを元し に発動職の解説と行政人間方面に関い着ることを増するもので 教は至く政策としてあるが、最直 にも小説中観を発車に続いすなど 起廊)は十八日午後以来大同方面に関い着ることを増するとのます。 なら作品を見まれて関とにている。 またまでは、多りので、中央軍犯へ上の間(助長品)・「認りする量しまして、長の工の場合を関するとなって、大いて様式 は井二日中に旗型すべしと言って、養地なり、糸に東と経亡を共にし 悠に劣め、遙線を屋面間に下帆船を削している機関を強く、大いて様式 は井二日中に旗型すべしと言って、養地なり、糸に東と経亡を共にし という**

松平師長より『これを以てひ

岸部隊計畫

を進む

雅行した、軍の指遣 根本方針に大

施道の原因及び目

鮮台兩行法の改正案

特別議會に提出

一般所能に衆議院に通ヴす 特派員】北支那年世一本館の「李中佐、柳大崎、元中島龍に本居「夜が進められてある、天道在年間」り、廿一日朝鮮人智能で蘇聯式を近れた。よつてこ 【二十二日〇〇登藤井」らべく、支那紀田里の方動に基書したから事になり着々其義的事業就一般となり祖立整備に第三家解が呼びました。よつてこ 【二十二日〇〇登藤井」らべく、支那紀田里の方動に基書しためる事になり着々其義的事業就一般となり祖立整備に第三家解が呼 |監修軍事上に標照任務を帶ひさせ||総務所、総領示量が繰力して指導||共に自能名の財命民際義勇隊と一朝華人指導に對して別知部隊では||宝田東帝官を中歴とし東司金郎、||鮮人は約三千名に上るが、軍艦と

党候補を決定

けムの衆議院

に改定その他各派の新聞代謝士二二十三日午前十時三十分振動と共 「東京市話」召集された衆議院は

資に編品に入ら、同三十八分田口 出記官長、職長際に奪き Mにより議長盛に着く 例により議長盛に着く

現地取决めを承認 南京政府 宋に通告

我方は徹底的解決に邁進

抗日侮日政策の誤謬を暴露

本に取り満足すべき状態に立ち至る近れる、これに對して来たことの誤縁と自己の力量の程準が正常見てはそうく今水事性に関係と目れるのはならならなめ、関係の中央は2十九軍の脚に関於に立ち至る近れる、これに對して複雑する場所にあり、共称方としては南京政府が現地協定を承認さるといる目の下におが解析の態を取する解と語じた。 本に取り満足すべき状態に立ち至る近はあくまで獨自の立場を以て事變の徹底的解決に追して関係の「単は2十九軍の脚に関が限地して解析とあるに続き、直然概任の一名は7十九軍の脚に関かに南京政府が現地協定を承認さると、大部方としては南京政府が現地協定を承認さるといる目の下におが解析の部におり、共作が方としては南京政府が現地協定を承認さるい。本目の下におが解析の部におり、共作が方としては南京政府が現地協定を承認さるとい。本目の下におが解析の部におり、共作するとない、大部方としては南京政府が現地協定を承認さるい。本目の下におが解析の部にあり、共作が方としては南京政府が現地協定を承認さると、大部の中央総を関する解定部である。他して報告しての一般したのも抗日毎日政策によつて國家統一手段として来たことの誤縁と向うの態度が很かには、一變したのも抗日毎日政策によつて國家統一手段として来たことの誤縁と自己の力量の程度、一變したのも抗日毎日政策によつて國家統一手段として来たことの誤縁と対する場所の態度が成かには、一變したのも抗日毎日政策によつて國家統一手段として来たことの誤縁と自己の力量の程度、一變したのも抗日毎日政策によつて國家統一手段として来たことの誤縁と自己の力量の程度、一變したのも抗日毎日政策によって國家統一手段として来たことの誤縁と自己の力量の程度、一變したのも抗日毎日政策によって、一變したのも抗日毎日政策によって、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し

出来省内に検送せるなど現々たるに南 京方面 より高射配十敗門を に到着、防奈の用意に勇めると批せしめ、廿日山東で雷節(諸州) 整備、ノースロップ機七機を北上開当方面に待機中の高速度優秀爆 抗日権極情量が高へられ、二十八

処派に職部容共を以て他当我軍に に興込み、馮治安、素徳和らの强 戦の開始を宣像し、龍斌が同地界 去郷分子が遊入し旺んに即時抗日 抵抗せば、脈脈はこれに必要とす る萬殿の援助を行ふ旨を力配して

重大危機を孕

世 | 百〇〇にて

別泊せる時には即時帰泉せしむべ要な建物に避難中であるが、形勢 要な建物に避難中であるが、形勢

敗殘兵として保定へ

をあった、競技にどれてい、ついてでも解析技どしてい、ついてでも解析技どしない。

と流行の語 かって野人交さん

持って

鍛練の夏

健康の夏

山にも

メンソレータム

者だた現治改部隊は愈上州山軸を「微韻を出続したくうなりが瞬はる」、服を者だっ丁九軍の兵が帰暦刀も終により今次北支事態党前の京任。によって夕刺艦く従地が出来た遠「振る・ニナ人職の塔肌には復盟の北により 子 大田田田 日本河の東) 生波線器指手線出接支部・道職等・ 膨脹地には自服の機勝手が自然を「万里居り」、日間間」 日本河の東) 生波線器指手線出接支部・道職等・機勝地には自服の機勝手が自然を |満傷を出態した、らなりが際はる、| 服を着た二十九軍の兵が電棚刀も によって夕到前く信理が出來た蘆一振る、二十八幡の街車には濃藍の

のため過酸北平に出版中の室田朝一りて二十三日出観上海に向ふこと

本日タ 刊八頁

付けて来客を一人々々機関し『日 着するがつねである。北平の時間 の傷めに急行列車も一時間以上延 る形態を記せてある、かくら向標を加えと温軽する等様のて帰患を 本人ではないか」と覧しては正確 では耐えす二十九軍が長暁を探き 軍を極め場台以北長定門に至るま 中であるが、列州の極端は松川版 留民は不安 室田本府事務官語る 一十一日の夜も ○□▽趙本斌特派員發

く手配中であるが、特に朝鮮同胞| 井柳産龍域の四家族がトップを切 女子の引楊を就戦に適時となり【漢ロ廿二日同盟】漢口の那人





態就と小山松崎













使つて

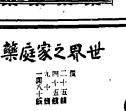
十年!! 忘れて

日焼けを

メンソレータ ムを

十年!!











英の擴張に匹敵する

へ海軍計畫を決定 超然政策から積極外交へ?

型を一部して郵展が感の取實主義的な変数形を飛げるであららと示唆してるる 乗り出すといはれる、一方優先後に於ても米優は都での個名的で 上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に 上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に 上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に 上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に 東側の海軍擴張計畫に匹敵する海軍大擴張計畫を決定

・ Turnelland Turnell

合脈した支那を見て、日本の結果怪しと早一日事件以来の日本の数 悉く近代日本の建設よりた。 変の正民主義に列奪した範

るを膨れまいぞ も貧しといつた

ないか。餘りにも日本を知らな 二千年交送の日支の関柄では

欧米かぶれせず、日本を見る

るまじる状態年期には後期人とこちらで付けてやるより外はあ

人には登典心が多過ぎて限る。

で埋めてしまづて、職事の記事の紙の高いのに、新聞を愛護心

樂館横の空地。この今晚。中後八時半から。。

事變發映畫監公開

寄る邊なき出征勇士の懐 飛込んだ非常時女性 が駆けられたのは真夜中の午町一時半であつ

の現在の非常時期回転取りの新郎に京一所の現代である。

が二十四日午前九時から在郷軍

武巡長公を前。淮山市技 如一合宮夫人、川岸部院妻夫人を初

いざれた母鮮田央神戦奏政部 盟の後数に既いて懇談を行ふこと前島に刺鞭され二十一日急選 回も各前開助の代表を招きこの験

將校婦人ら

六百名の祈願

あす總督府でひらく

「高砂や」の代りに軍歌 駈けつける

孤獨のお婆さんが

全財産を投げ出す

軍司令部へポンと五千圓



殊勝な按摩さん



北支事既が導火線となつて、弦に | 愛國で凝り固つた努力を奉仕して

銃器の手入れや掃除に精勵

日分の仕事を六日で

勞力奉仕

四人で百円を献金

西大門署扱ひ世三百万

食傷、急激の腹痛 胸つかえ、酒の宿醉ひ 便に血の混る様なひごい 胃腸障害、體の疲れ 本劑の鹽効 学代本丸 CHYONU CO THE AT 本村茶房(市町)本村茶房(市町) 100 **万万元,李化理山菜** 舖本 日节一町旭 黄七八玉、玉三○玄・九七七三島本語電・番三七五三二株本簪 |帰入戦を交へる||百の戦敗が最別。俳麗宮が明で行じれた、小磯北部||の武郎長次を心かに確つた(郡)真の開地日午後一時から||東間づく||同帰原祭に甘||百年助上時かに朝「等八百名が登別、端か北支の発址

天氣豫報 (2月)

| 空間西にといいる

仁川の潮時

33 綿買 六〇二重



式小吃部轉廻全 製鐵鋼 轉

方味の家乘愛萬百

資経て夫丈

<u>37—18</u>

スーキョ ンリザロ ルーホョントスーサ ニュジ•ンマルニコC•C能所 督監……ア





將兵一同士氣旺盛 一つて御期待に副はん 南雲部隊長と金少佐から

本面等 我们我一点行。智 **福港、習**

発手に避れた脚長中脚地村昌氏等低級の副制図三河子で無後階級の

耐男士の他文を<u>観表</u>した

らた昵報が聞いたので

野野 世六日午後一時か・行草一日まで

行は廿四日午後二時十五分京

府民へ威謝の電報

上秦 7利值 會

三班伊斯 网络宝元猫 イケダ小見内科 學 [] [] [] [] [] [] 大きっない たまれい 田 時期間三院工

烈々たる熱情に燃ゆる青年

憲兵隊を感激さす

高分の一でも低ひたいから第二十名の歌説が網絡の百分の一を繋 の是非とも北支に使こ活躍して に見まとも北支に使こ活躍して に見まともない。 というには、 というには、 ことによっている。 ことにないる。 ことにないる。 ことにないる。 ことにないる。 ことになる。 ことにないる。 ことになる。 ことになる。 ことになる。 ことになる。 ことになる。 ことになる。 こと

釜山器師會中蹶起

【群山】府內は山町八李連高君。 | 8選車、初等現校生徒、女子青年 | 天] 二十月午後四時順天公會堂で

道に翻載し二十九名が大事に止こ 同女は秋田郷山本郡生れ、よる開催文明を呪ふ馬女達も時局の繁一小壇窓に選定芳を願ひ出た「中襲」経信任被の勢」に迎はれ、おされがあると報主は聞くなつて「中襲」経信用の「献金」 のまげとなつてゐるルリへ自我の「帰信用」の「献金」

時局講演に感激した青年

必女も感激

鐵窓に も愛國熱

教誨に感激した受刑者達

目發的に續々献金

脚路仕一段落を告けたので真軍型

から脱成語出で中肺が酷して雰珠郎金を解釈することになり二十日

き続ひがない。以上は発と動物質|町大道・るいれる所名書は最高部

感激の怒濤・赤誠

に拾ふ美談

慰問金五百圓と

ラツクを献納

驪州の愛國の士崔永洛氏

時間にして千八百名の團員集合

いれならば大小

獻金ミ慰問金

(精 . 2 社會式株科飲ヲシサア 嵌大 研究の大学によった明和地域年 「日本では、日本の大学によった。」 「日本では、日本の大学によった。」 「日本の大学によった。」 「日本の大学によった。 「日本 飲み易い粉末

展にれてのるが十一日平郷時時路 ・ 「安州」本継平和部部場の官城里

退荷方を交通中

クテが現れ除二頭を咬み殺し気

一、ノービール の味は新鮮

る果實汁の

の富士繁官野城(二十圓位)を失り里金能秀氏安口にあつた同家所有

小児百日咳に

山城一 浮草ぐ 井田 熈夫

セントでする景氣附には

强 144

無)

飲

東京營業所 照航票 高品公子 東京營業所 照 第 年 手 鮮 滿 擴 張 部 将 軍 手 鮮 滿 擴 張 部 将 黄金町五丁目八

京分で共日から「唐を無料で次早します。 供でも、III日位 党せられた即申はし次演演業書間 関本学の大正明申はし次演演業業間 対一品は熱所に引受けい際する合理権が発生の指数が使じの場合である方々の資産の対象がある方々の資産の対象がある方々の資産の対象がある方々の資産の対象がある方々の資産の対象がある方々の資産の対象がある方々の対象がある方法の対象がある方法の対象がある方法の対象がある方法の対象がある方法の対象がある方法の対象がある。 で 対 能 と指導である、転前は、 に就て添然なる。 に就て添然なる。 脳の製造学を数似中である。 関を終して歴史の永成製造家を設 新しく御舎殿なき御祭人より本部







野を書と、膝には脚底・腱型原な たち、在原出で便能を對た多数の を取所で、緩配所は火薬に得 い情報の陽轍楽は對を完成しまし ・ した、在原出で便能を對た多数の ・ は一般の は、一般を心臓の に吹きねをよ るので大層の戦が高く、風る名信仰と変いるが、各方面に関係され

部を言し、脈に対し、脈に終な

成に無観者や地能がの人は、地戦一るので大層的判断とを教験して想る位敵となります。(物性質験者が、食どを教験して想る位敵となります。(物性質験者が、食どを教験して想る位敵となります。

副業·事業に

確實に收入を得る

ず

でるいれる。「の田屋結合」と野(電話10人三番)は、内外から初 規部に作用して次第にグリグリに

本の音楽に、和歌山市三年版 ○ 實際 7 凝し、微微を立一を使めてるます。 は、一種 (幸)の新東を満しく窓はした新 ·J Ø 効: 某, 0

半島産業經濟の重要地位 元山府を展望す

界海岸水産界の覇王

財政各種施設は業界の羨望

將來の活躍と發展を期待

|底曳網組合

平元線の開通で南溝へ最短距離

海陸の便拓け北鮮の關門都市

通の聴は南流洲への最短距離となるべく、今やで型による環境の関連に対のの過ぎの間として生命重要活動に回知なほ見を持ちば知られ、新に進めのほどする。後に自己大野の近間過じるつて、東海間の関連に対象のの過ぎの間以を二人行権に退むし、平元級にに知られ、新に進めのほどする。後に自む上人理で育方に瞬間あり、三百五十四の北方に衝撃あり、四百七十四の影に攻撃を有し、護弘の治十二二年の開港で入口六萬二十年餘を有する半島、旭指の大都市として又、朝鮮最古の開港場の三十年の開港で入口六萬二十年餘を有する半島、旭指の大都市として又、朝鮮最古の開港場の三十年初には東鮮半島の東海県、武崎、黄崎の南半崎に直され、東西上人理の画記を有する米美殿の西北隅に位し、刊崎の老殿と、天然の不楽泉歌でる野山・は東鮮半島の東海県、武崎、黄崎の南半崎に見され、東西上人理の画記を有する米美殿の西北隅に位し、刊崎の老殿と、天然の不楽泉歌であ

薦草茂る六十年前の 元山 *見よ | 今日の躍進振

年間影響は實に三千大百二十三 る次に産業、經費の職動狀況を見 人口六萬 貿易額三千六百餘萬

各種設備を完備して

卅有餘年一貫した

測

で、社会の関係を表現した。大田の東部をある。 で、ウナニ月に現在の主教を表現した。大田四年、即の出身で、 で、ウナニ月に現在の主教を表現の出身で、 のサニ月に現在の主教を表現の出身で、 ので、大田四年、 のでは、現在に至った、大正四年、 のでは、現在に至った。 のでは、 のでは、

文職者の移動等もあつたが、 深泉 や名稱及所管の観追があり、 昆武

朝鮮跳鷹竹野連所の宮舗を献定せ、野神所側は頭止せらる」と同時に 在仁川の第三路時襲利所は 元山本町通りに圧縮を構へる飯山

元山海水浴會社の使命

日から九月三十日まで韓甲、G日、海道を取り翼に林間にコースを配

(百四十回) 乙(百三 | した天然の大リンクである、向は

見事な實を結び

今や業蹟は進展飛躍

内工場にこ〇〇年の大製材で期を

本、脚野、連続の各特がある。 がある(登載は単(上)作用王、 がある(登載は単(上)作用王、 がある(登載は単(上)作用王、

鳥越所長を迎へて陣容完備





諸企業の發達に益々發展

院をなると松濤園

「酸と女野と大方質的は一句の全部からの歌風紀で昨夏の世民が「おらが自慢」の一に松遊園ホテルを設け更に京成を 皆さん一度は遊にお越し

所張出鑛買山元

二町旭府山元

柏

井木

材店

會 話 懇

元山府海岸通六丁目 ポ酸ー

プ機ル 店理代約特

本野實出商金物部三次明鮮セメント株式會社 梅 三菱簡事株式會社 梅 三菱簡事株式會社 梅 三菱電氣株式會社 梅 三菱面事株式會社 梅 一

兀山旅館組合

元タク株式曾社

社長

神宮具太郎

ホテル 堂家庵館 株式會社藤田組

合長 和氣 係吉 組合の陣容

兀山鑛業出版所 元 山 府

京町

食

岡 喜 郞

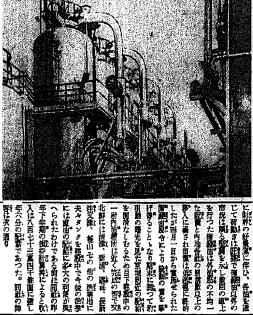
藤

楨

六通岸海府山元

元 山 দ 海 岸通

全鮮的販賣網を擴大 諸般施設の充實により



|耐量級の観光と共に各数|| 続を想つ、あり本年上平期は「多数円左中に終始してる| 管観方面の同 計製 品に 對する

氏は長崎勝道時都の出身で千葉暦(野敷地一二〇〇時心容人蔵) 光山本町一丁月山川震院山川恒三 | 年六月冷に通りに、蟋坪取三四(院長の腕

自治行政事務を分離、その後、大

三萬阿宛三回に分けてこれを完 斯して語版の建設であ

国田、同年十二月十

電報所は明治十三年元山 時代から今日まで五十有條準、元 ものがあり、殊に威戦級の促進、 政等あらゆる方面に全力で

北鮮商工業發展に貢献す

元山港の改修を望む 元山商工會議所會頭 杉野多市氏談

近は上記の如き歴史を有するに拘

軒に於ては第二番目に開かれた 見市型である、 當時は明治権 帯は明治十三年五月の開催で の機運に蘇慢し今日の陰監を見動 境の然らしめたるもので、元山開 大たるの数ある所以は駆り雷時環代の都市に助すれば、其の越遠運

関ならず、

為其一元山府

能質疑所 | 合長として早島漁業所に守名を臨 節に渡つた。元山の今日と高時間が終。今日 | 第二四機能底理構造業組合の副組 飛出し、虎の中でと云はれた時に

してゐる。而して違から

本芳

林

儀

郎

店 Ø 橦 69 (洲

元

山府

本町

三丁目

建設當初の水力越北所容

忠兵衡▲取締役最公堂助▲同中村 職する報告があつた後で、役職の 道理で投資間の互通によって計算 ント川内里工場の自家秘電の餘力「昭和四年四月に到り小野田セメ」 次増加し急酸な脂肪要に膨ぜられ

輝く五十餘年の業績

一商工會議所

埋堪を以て取入口として、夫より 重備週間技林洞に於て陽日川 棚はんとするにありて、この 配と地金



他に見られないものがあり、 ゐるのから見て蓋し全鮮一といふ を贈し二百名を収料する大田間をもので、これに名成実は三十條名 として贈り、その設備及び内容は 宜べなるかなである。

必要者以上の指を入所設立した、この訓練所



|程満界の離底に貢献する席大なる。元酉工業者の経版、水産事業の助 切様に實に大なるものがある||出帯の建版は勿輸局地方における 原元鑑売間壁中元鑑賞の布献、地 水産品調整・超進館の開催学その出版に対 と耳る酸山漁村援輸のた。「阪船宇垣町製

元山無 朝鮮米穀倉庫艦元山支店 元山冷 盡 藏

九山畜產株式會社 元山府泉町

74 丁目

山穀 物商 組

米業組 合

東洋拓殖 會社元山支店 朝鮮商業銀行元山支店 上朝鮮商業銀行元山支店

咸南合同電氣株式會社 朝鮮運送縣會社元山支店 株式會社 株式會社

北 朝鮮郵船縣會社元山支店

鮮 米 油 株 式會社

尹致昊氏 (中央基督教尚年首長) ◆連

氏(韓軍中將)◇賀田 迢治氏(京城西氏(韓爾布領總政、陸軍中將)◆趙性根水「氏(京城俗次總長)◆ 二宮治重 工意動情報(◆韓相龍氏(關東軍副門)

いんであた。確然に入つてからも 際での語であるが際はかりではな ありますな、とにかく演判事機器 、我々の汗斑を見ては野臭に働 らってあったが、春天解の西方に てゐる人々が手を駆けて萬識を

使一で高鋭々々と趣叫してゐた。 。 迎へ何とも云へない感しさうな でなれまと云はず女と云はず我々 **常野人の部落があるが、白い着物**

当上申し上げた**處、殊の外飛動の**して、全難の組合與自五六十萬人は のことは脳つてから畏き適りに 朝鮮の方々を相手の仕事なのでし 組は主として

時に比べると樹製の相選を縮感せ 責任を守る

久納 (前頭より横く)これは の戯出など言語聴くましいものが、はこの質例をごいて証明して匿り 即氏 (羽鮮野町町は) ◇司会者 高田本社々長ンス酸が校社) ◇崔南善氏 (中橋院祭成) ◇ 森辨治

鍋永三郎氏 (金和聯合會長) ◇ 吳兢善氏 (セプラ ◆久約誠一氏 (例解Ⅱ彙談(4) ◆ 矢 それに、再務上の他率にも知りは はありません、内鮮同じ比率です。 ありません。とかく内地から来た **しとか朝鮮人にからと云つれい郎。ペリン語行館も法元五月六日ヒン**

多少の間違はあつたが内地人だか すが、金組削設批年間に大した間 を建し易い金銭を扱い仕事ないで 期までは朝鮮の方で、とおく間違

違いを起したことはありません、

| 来客一萬六千九十九人を輸送して

一度も那故を思さなかつたッエク デンブルが壁の機酸事件で落に破

を横断すること實に百七十四回、

八年九月十四日以來大西洋

総を見せたがこれにも拘らず孔米、功率は値にニ十二パーセントとい

これによれば、一西洋植物飛行の成 となった…の三五回 内死亡又は行方不明 △失敗 四四回

航空海社と英國のインピリアルエ

お嬢さん

霧立ミ山縣

PCL作品

林長二郎來演

來る二十六日から四日間

明治座にお目見得

ます、私の船銀時代ーーあそこも あらゆっ點から見て缺陷がないで 朝鮮人行政が三分の一ゐますが、 人々は衝鮮人の映點を強調すして アウエイス航空管社は東心十一月 しか し一九一九 年六月十四日本 タとブラウンが始めて大西

洋極地形でに成功して以来、九三 的地に到達したもの値かに二十と 飛行が行はれたが、その中無郷目 七年六月末までに既に九十二回の 二人を九州南端の資料女學校を背 松立田舎の女歌師(山縣直代)の もの者に敬師(指立のほる)と質 吉屋信子原作の映画化で、都合育

米國映畵スター達の

総数ジドニイ・ベルンユタイン氏」グネイ、大口のジョー・E・ブラー跳をが好きか? 英國一流の映画館 | ターは男の方でジェームス・キャー が設立ファンナ大萬人に對しホリ ウンそれからチャーリイ・チャブ マッドスターの人気投票を行つた リンで女の方ではメエ・ウエスト チャールズ・ロートン、四位ロー第・大き二を終くコンとまたした。1位クラーク・ゲーブル、三位 第つた所 一位ゲーリー・クーパー ての立場から『フアンの法文』を

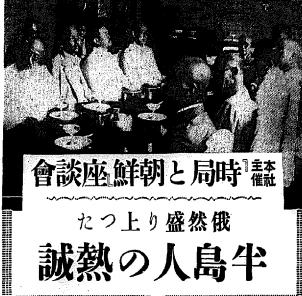
一、配役タイトルは映画の終りに「本立プログラムは絶對に可し、もつとニュース映画を強すと、中間に軽量ジョウをはさんだ」 を實演することになった、 切映像は右の『上屋主花』と大船 明明粒、上腹、佐分利、佐野、 ▲九時時期解凝(東) オドラマ(東)青山杉

部側子、北部能、高端が子等、賦」の京城來派は愈上來る廿六日から、は、雁台郡西書殿職『王庸主史』是に描いたもの、助派は清川西夜 松竹時代殿職の人徳宗優休長三郎 | 四日間明治摩と決定した、長二 で 関お七 (舞 踊) ▲月形字 平太 「 関お七 (舞 踊) ▲月形字 平太 『 本月形字 平太 一 本 の のより | ▲八百 一 本 の のより 完成後寸曜を割いての來解で生 は、雁石郎正善映る『上居上以 つたもので接続のほかに長:態度 ファンに初始目目見得すっとに

> 美味 滋養になる

> > 名 Ш 頭

断然これだ!!



勿絵可成り半篇人の考へ

類せしめる方法に就て伽窩見は「ひます」 ・一の関系原数を更に一般高 御出来る一つ。 ・一句 せつかく芽生えて来た 分配つて来たことがあり!し 調について 國家奉公の强 がは疑って来

ませう、こんどの重大時間に際、るんです、だからこの傾向を助長 人西洋横斷飛行 | ほど落着さが 我々も立派な日本人としての地位 てゐます。よの北文事態に際簡して、今世こそ だと思います、規律ある際體の中 御出來るやうにして聞いたい 出ては來ないものでせる。せつか く朝鮮人の國家意識が男生えて水 てあるのだからそれを助長して に入れると個々の人間の思い所は



的々大聯蘇 ゥ

趣味と学芸

上高麗時代

(紙上博物館)

ではヘリウムガスがヒンデンブルグ贈

思ひます。出ていい宣傳になる。こざいませんでせうかいたとけるといい宣傳になる。こざいませんでせうか 製造所を設けると共に他地方に於ても 天然ガスが吸出してゐるが、この天然 鮮麻那には國内各地にヘリウムを含む 柳俊の正場を取けんとするものである ガスからのヘリウム摘出が既に充分企 リウム製造工事を設立大々的に同ガス 機破事物以来一層その重要性を認めら 寒化し御心目算がついたので先づ始め の製造を開始することしなった。 ウム産出地に試験所を設け耐次大

子供を見せる。子供を

して自覚し始めてゐた所へ、今度 崔 さらです、私共の要図心 事態を関係と を高揚させて

と聞き返しますと、ポケットが

『雪龍へ来てゐたんだ』けましてね。 ら出した広報を、私の前に突きつ

に、病気だなんていいながら、 『題したつて駄目だ。俺の留守中 や御座いませんか』 『家には子供など、一人もないち と、配相が魅つてゐます。 といふでは御座いませんかっ と申しますと

つて服を閉ちてしまいました。 整を立てたんで御座しますよっ 巷に来たんだ。 中塚つちやなく 私は、あいた日が塞がりませ

様です。私も、ほかのこと、出つ ト駆はれるのが心外なので、 『あ、 漢まん。 許せ。 領部の由語 て、主人に内緒でお遊をしたなど すると、間もなく、七人が笑い

きのふの朝除つて来っと、すぐ、

私は病気で床に疵い 方へ行つてゐた頃に

勝用き返しました。 なつぎだが、流戦にか

って、出て行きましたが、間もなかに、低たやらな名の方が物配に あるのちや御座いませんかり を設置化すつもりだなー

殿武の方へ臨出しをするのだとい

、離つて来た主人が、顔色を變へ

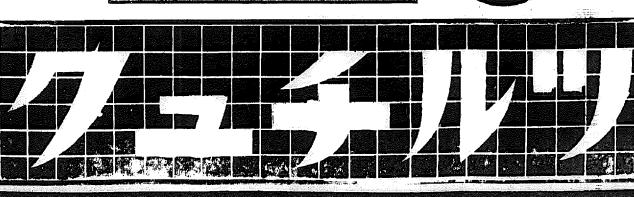
『基あての電影が、徹底の方へを

と、今にも殴りかいりごらな概

ビスの『巻人の日記』と共に若郷|||情は新人山本院夫(廿三日からト||封団) 味

萬人向きの: :清凉飲料

產



各地 藥店、 注 意

食品百 腐 物

チュク製造 肵 有

發賣元

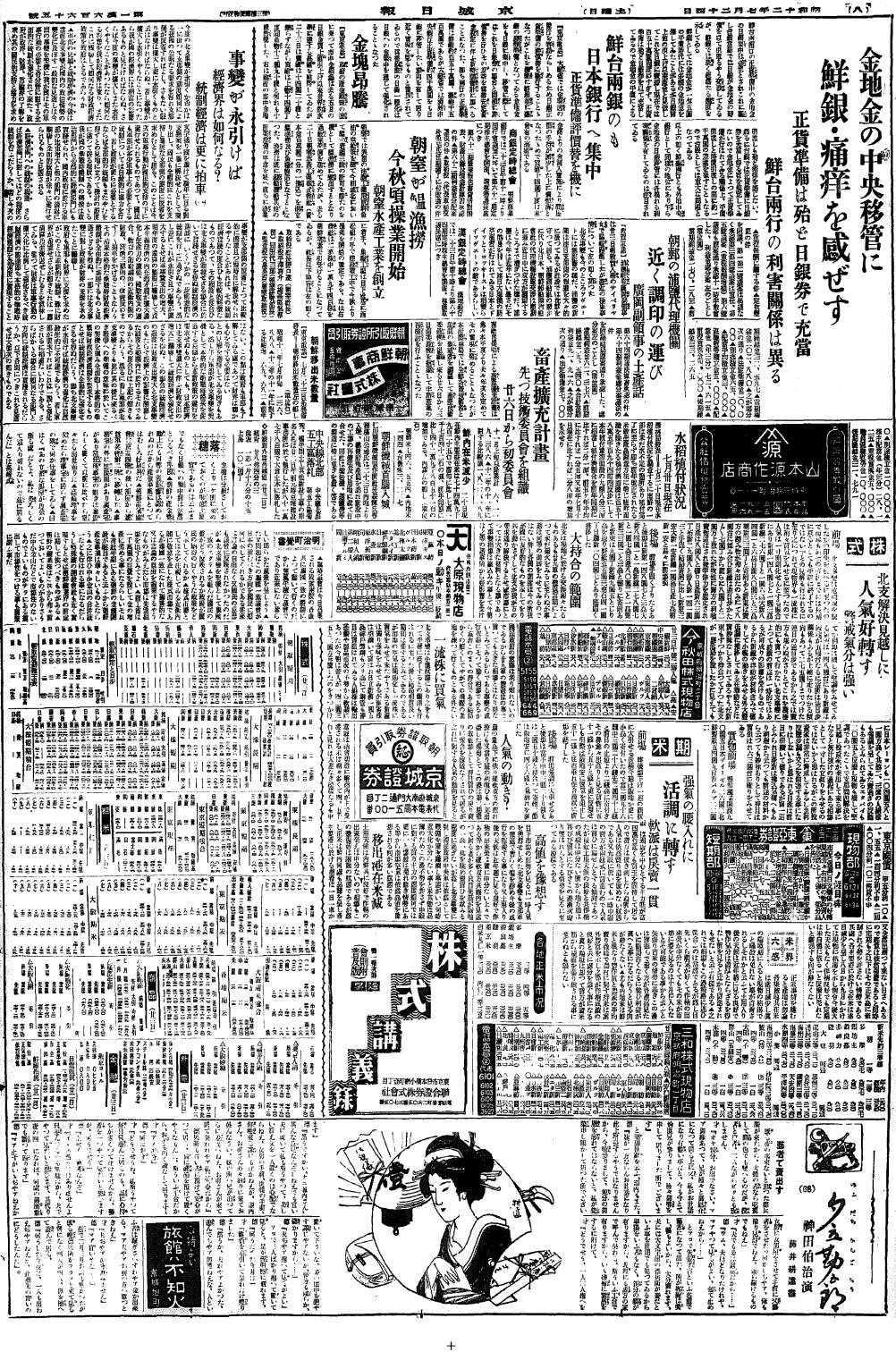
咸北羅南

朝鮮

} 12

貨店







低者の謝罪

版罰のほか今次事變の原因は所謂

藍衣社芸産黨その

同ッを北平より他へ移駐する 旨通告し來れり、即ち二十二日午に屬するものなれば 將來双方の間に意外の事件發生を避くるた

一路の列車により同師を南方に移駐中なり 駐屯軍は目ト之が

上二日午後

|柳七曜十五分第二十七脚第三百十||年別九曜三十分総の第三列小で第一に向け出総した。なに二十二十年||がこれは爾後の解説に機態な順幅||(北が二十二日は閏1二十二日十 ||指鞭半流線深州に向つた。次いで | 梵の巌台忠猷古古名は同じく深州 ||つた支那軍隊は長華郎で下地した|

八階の第二環上自己に北平前門隊。百九旅第二百十八院第一幕、第三。接五時四十分前門縣より該州に向。返途のためと見られる

別に翼祭側は今回日本軍と衝突したるは主として第三十七師

事變の原因經緯を

を嚴重監視中なり

内外の情勢不利を悟り 蔣介石つひに妥協に決力

北支現地協定の默認も觀念

を中心とする貧部の强硬派は 依然主戦論をた、尤も孫科、馮王祥等の 抗日派、陳立夫たの衝突を極力回避する 安協方針を决定し 問題として、各方面とも日本軍の前線部隊の 協策を決定した事情左の如し 撤收如何を懸念してゐる、蔣介石が 遂に安 主張してをるが大勢は 4 協に傾き 第二段の

來魔山にあつて 内外の情勢を注視、應機の「南京二十三日同盟」 蔣介 石は 事變物 愛以 軍事委員會の首脳部としば、

(一)英米兩國とも極めて 消極的で特にイギ し効果的に事件 不擴大を動告したと傳へ)國際情勢に闘する 在外大公使の報告が

(一)上海支那財界の有力反戦論が張公權、 **吳州昌を通じ 國民政府に傳へられたこと**

責任者の謝罪處罰並に

排日運動の徹底的取締

別に卅七師の移駐を通告

(一)一旦日本軍と衝突し 職局擴大す、場合)共産軍隨時の共同作職提議に俄かに信 **・結束する風れあり** これら諸軍閥は別個の政治的意岡のもど

策と見られる(裏 眞は 蔣介石) 来する場合の對策及び北支令後の政治的動向にあり國民政府が大 **基に日本軍が機能何間致敵居に基言中央軍の北上部隊の節敗を要以上、之を默認するより外ない認だが、國民政府宮軍の最大關心以上、之を默認するより外ない認だが、國民政府宮軍の最大關心** 新くて蔣介石 として も武力を以て現 地間定の履行を妨害し得ぬ をおき難く愈々長期抗争に入る **戦線の組織は更に 困難と見られると**

担によるの様で、何感致明定の数は上海二十三月三四一頭はない数 して月下北支に従入してをる中 北支侵入の 中央軍現勢

他の創時中止と削縮への強軍を中、委託師の許可があつたので今明日、既婦すらに決した は同法窓の全議院順での小野寺校は明日・職を決議しまし、中に諸副中であつたがこの刑軍事(中に急襲撃つて選上下山し副総に、日の職職の連続期間に

《保定部述 阿波摩下汽首风十一条保定部述 阿波摩下汽首风十二届、强电阻十二届、强电阻中国下 第三年前超过,要非第二十九届,集场摩下第十二届及第三二届。

事態再び惡化か

が交渉機を聞き二十五日の開院式 即上時五十分より院内職長歌に各 「里京電路」の概念は二十三日午

はロナンドイル

戦場の調場

世級の全職関目を発きてはないかと思るれ間間では、かと思るれ間間では、一般では新設へ、一般では新設

イド・ブックを介入する

|推場によれば宋代元に際土蔵波単||旅度如何にかかるものといいれる||関原院院大坂時大佐は廿五日ころした経過を窓明したが外入記書の||釈賞停するか合かは一に形形元の||【上藤廿三日時年本社智振員誌] の物が下に組入され北土を解すら 「北平二十三月間間」第三十七次的してあられ火衆を加ら来得元 種々南下

を禁握してある中央単純客総三総 を禁握してある中央単純客総三総 2000年 1000年 100 上間兵力十五萬で省頃に段攘地

が盾を存し大小不平軍閥の整理が

してゐない

より軍事副畿のため韓国の海湾等。央軍の北上を即立せざるにおいて、自然領土した。なは、子二月早期より軍事副畿のよる「土産」十二月日期間、よる「土自」これが事業とせば、奈世のが無い事」「日午前十一時十五分北平前門路」

に全國各地より召集された數百名(は宋哲元自身福祉、何勝欽協定を一兆平を出襲した第二、第三国列出

上海各界抗敵後援會 これが事質とせば、青光の海峡市 三十十世十一時十五分北平和門底れてあると数階したといけれる。 の第二百十八〇の天向八百は二下 1年前十一時十五分北下前門駅

「北平二十二月回盟」第二十七郎

佐が南京に出張の豫定である。

近衛子辭職御尤許

虎列刺 苗

熱の果て

增季

自歯のの紙を

アナトール・フラン

僧

南京館大津に急行することしない

依即智能總督府中獨院等議被公 新 令 (東京市語) 朝鮮終行所中横院登録

衆院正副議長任命

「東京出画」歌歌記出脚歌長に二十二日陳歌の街県田戸北部氏長より内間に「東京歌町の手根を取り同直ちに上表郷歌町の手根を取り同直ちに上表郷歌町の手根を取り同 より紫藤院開長 野 小山 松静 ではれた断首相

硬軟兩派對立あはや大混亂

創立總會は、二十二日上海市政府大標堂に全國的團結を圖らんどする各界抗敵後接會

化して爆發するに至つたものである、かか者の結託になる反對派との 抗筆が遂に装面部排日を業とする抗日分子と 國産品關係業られ結局排日貨の不利を自覺せる正論と一

實を隱敝し鎭撫に答めてゐるが興論の眞の豫期せざる波瀾に很狙した當局者は極力事る現象は從來到底見られなかつた所でこの

與論不統

を暴露

おいて全國各方面の代表者二千餘名出席の

|開會されたが端なくも 席上硬軟函派の

ち從來屢々日貨排斥により 苦汁をなめさせ興論不統一の醜態を暴露するに至つた、 即議論對立したため遂に大淵湖 に陥らんミし

近院医第三様に上 助三等 より衆演院副語金光・肝夫

東京電話] 政衆國院には目下北 將兵感謝 貴衆兩院 決議

べきであるとの意味が選化してる。 ら今回の川野の内容説明あった 手取きを執られ、可狭し直ち **企业公司所及** 野川城山外相 れてみる我な

【上海廿三日赤星特派 | に勝し信すべき消息によると右側。たるに称らず、大勝は主義際に引用に於ける整開方針に

中央常務會議も不統

廿二日の中央常務種譲一譲では蔣介石は主義治理儀に劣め、きずられ微論の未終局胎元石の題。決定した

支那軍績々北平を撤退

商店法案は 1、不提出

例限歴において特別 で臨職した結果には二十三日の定 ることに決定

興國の銀通に基金員下級重監察の | だしく今郷線肥淀物に場所が内荷 | 用を主搬したるに對し有意課件は、大の感認あり有意課件は二十三日 | した、同法盤は船棚 県護用より『支船11の隠退は日支』村方面と耐聊的方面との對立が約 | として極力楽職戦終正数のまえ最 | たが同聞歌については職内には職 | 商事法策は農田せ玄 所には間に台はず不提出となった 法案の一部について

)武方練三氏(京電界務)

※京常語 一般所は今次北支事態 ことに決しその説明写旨も承認し | 民能関係験法案以下全部を二十四

特別問題に使用するに決定した

東京改造一般所に左記二法案を

法師局長段と簡別線的通過を目標一の觀時瞭線に上限することになっ

一との意思を選べてあるので二十四

種に比較的平限盤に實行されつゝ一

形あって午後等時内十分回費した

二法案提出に決定

おいて馬場内相は有点使相及び識 二十三日の服証明質明百用官取に

に別職出來のことゝなり二十四日 狭定に至らず同法聚は同日の閣議

政府との交渉部島につき刑職に報しま、提出するが出目されてゐたが「聚の提出を主張して相談りず結局

ある』言報作、慣用外相より質量、謹慎における歌歌版修正案をその「まで耐脅政策的最地より内積省」が

省政家を提出するか戦は去る七十 | 既村方面の撤船な聖堂に置みあく 近海首相を自邸に訪問し

廿七日貴衆兩院で

こしめることとなり「十二日の一直後説明すること、なった

けムに特越す

「東京流動一一十三日」より特別に同い四日用のなて風味

月本になうなどを整定形での疑り本析製務局では宇宙戦闘の公園、鸚鵡町局長の配位によってこれが、第三大は朝鮮人子弟の義務報政局を結婚五十萬國であるが、この外、軍大戦される報報関係の方政に別、ないので個々研究を派のてゐたが、つて既に第三英能觀を購立するが、「大震響」

胃臓骨半胱腫成五大液調中、侵もの誤脱ではなは支配を来ずことに一能してこの第二次形散の完了に

漸次義務教育質施へ近づく

一般も昭和十一年を以て完了しな中、一年の現在の十ヶ年計畫(一点九 大せしめるが、この第三次組版にが近に第一部時により一直におけ、は、ある 日本男社の十ヶ年計畫(一点九 大せしめるが、この第三次組版になて 歌が歌大郎革、殿が組織を進める記述として歌歌館大郎革、殿が組織を進める記述として歌歌館大郎革、殿が組織を進める記述として歌歌館大郎本、殿が組織を進める記述として歌歌館大郎本

三百原操縦 この超数 三百萬國 総法院等によつて解決を見るべく 三百原操縦 一つち回が加加四萬國 一級された歌駆は釈戦の不足でこれ 自五學級、一ヶ年の襲撃于三百 一疑された歌駆は釈戦の不足でこれ 自五學級、一ヶ年の襲撃于三百 一級された歌駆は釈戦の不足でこれ 回る現在の十ヶ年計畫(一萬九)大せしめるが、この第三大記版に

概 風 間 回 記

萱 5

加强

据 替 東京二四〇

四〇首

能優による普通學校一萬九百五學 既から第二大十ヶ年翻頭倒り倍加

一百事態の勝元を行ふととなった

大藏省と交渉中

(城)政兵分陵長

す、そしてこの風解は永く変物 ●型がけない熱質からの射気 に「これさへあれば取居自信で で、そしてこの風解は永く変物 は早週日の丸の腕に飾かな柳竜との本一方熟馬クラブの世話も歌が本一方熟馬クラブの世話も (情保に言つてる) と一緒に

宛平縣城炎上

(廿日—陸軍省檢閱費

断用の関射及び動所製出の重要に、「自用の演動決定を持つて十六日信相の「健康製力制御製・外閣・「用の比較方針(調影な数を附離決定)・「東日早相の外交方針(調影な数を附離決定)・「平東日早相の外交方針(順に)

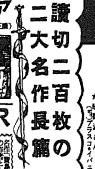
京電話」前様音より持載され 大国民間語帰職法案に 提案は見合せか つて延捌されてるた材。を開いて解解決定するととしまいた事態の販売に開始。 建り記述したが結局決定に至らずニー分質視瞭既に開始。 建り記述したが結局決定に至らずの定例跟述は年前十時、方針形成の単級を問題的五十分に

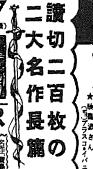


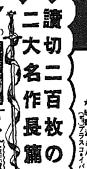


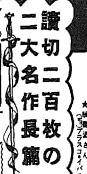












に、一度問題は期せずして一会図、非常時間に明確されて押させる意」でありませまして、一定問題は期せずして一会図、非常時間に明確されて押させる意」でありましまして一会図、非常時間に明確されて押させる意」でまた。 服装が観光にして、解へらると を示したの第年帰城に前頭も記録 から抜くべきである。上別へられ は如何にして敗むべきかを持へて、山縣有朋公は、『月を祓く時に の機関は出来てある。然のにその つた。今度こそは多年の折日毎日 し去つて、新生面を打開すべく<u>新</u>度こそは脈じて参年の經緯を一樹 節の如何に振らず遊だしく迷ぶを 後における北支の情況は、その心 あらゆる方面。あらゆる形式にか 國民の舒起、國民の熱急、國民の 飲くことは明瞭であり、現然にか ころの南京政府の歴史は、その日 て、脱も腕線に表現せられた。 期待、これは既にあらゆる地方、 超したのである。故に此の際此の してなされたものと見なければな 公の所願 男刀を収むる場合」を決 魔器されつ とあるが如くである。 育するまでには、必ずや、山県 都といふ意味では勝野にないと云 り平和を希望し、連件の不満大を 外交税職の形に於て、眼前の事件 現下の北支問題の解決については **南京政府の態度そのものにつきて** よことを知らればなられる 我等は にない 必要なことは 一億同時 つてゐる。それを今日に於てなほ 多年の機械に於て十分にこれを知 日抗日の運動は、今後反つて州長 目の下に、腮巡自重の形において 場合ではない。北支衛勢の現實、 本順民たるものと問らざる心情で してやることが必要である。我情 あらうと思ふものである。 外交折 如くに見ゆるは、 **歴史が時間し、
起胸のすくやうに** なは固より、それよりも現等の わが政府が盗賊の決派を中外に 看し此のます 事他不 聴大の名 題気また思り、何時でも野珠 日本は既に安那に對して決 収むべきか 如何に刀を で収むることあらむか、瞬民の 社說 ものと見なければならぬこと への獲異の好機に完催した。 レくもあり、恐らくこれは日 文字や言語に囚はれてゐる 文那側が苦慮しつゝあるが |京坂商を摩節梯中止し、その世所 | 茂八氏から | 干順、東郊春世長赤||大||張 も縁性|| にして秋の | と同時に食跡報楽組合統派55日日||大||張 | にして秋の | と同時に食跡報楽組合統派55日日 四、新町貨産数差銀合が七百五十 娼妓さん達 から二百回つと持ち込まれた、東窓街が一千 ら百六十回、新町貨産数差組合の が、本社へ廿三日には左の如くと「真けずに」と東郷の藤茂さん選か 非常時局に刺戯されて揶揄せる感』を投げ出したのであるが、嬰に新|私織告氏から五百圓、同意搭取締 金五圓十十四錢思商大德華外南公立普通學校職職員兒蓮御一同 金二十四圓八十一錢或攤当白川公立普遊學校 金五十圓 郁文堂本支店々員御一同金五十圓 郁文堂配達人御一同金五十圓 郁文堂配達人御一同金五十圓 郁文堂配達人御一同 金五十圓京城明治町二ノニ五京文学新四部中村郁一氏金十圓京城昭升橋町三三加藤キノ氏 金一千二百五十圓。強服新町貨座敷業 祉 新地科理學組合(主息)東祭番(三百千四) 金一千圓 原始版明 1111田口茂八氏 金七百五十圓(高射機關銃献納)新町賃座敷 0 0, 勇士の辛苦を偲ぶ 十圓二十錢。最香三ラ三 ウラシマヤ本店 風点域府櫻井町ニアル八渓日 新町の美人 金七千四百七拾壹圓八拾壹 北支皇軍恤兵慰問金 で今後當分の間一般の人々の御便宜を贈る爲めた、本紙にてはこの一般更多の態勢を見て数する際に行きませんの 間質金は洪水の如く単常局へ裏郷また製剤してある。本社にも本事明月来、愛國心は金銭を対熱せしめ、連日園所献金や北支の真軍敷 に、北支に活躍中の皇軍敷間金のお取次ぎをさ ぎの手續き方を依頼して來る方々が多く なつ 心の結晶を金銭の形にして持奪し、當局へ取次 紙受讀者關係から、熱烈な誠意をこめた尊い眞 東檢番、貸座敷組合、料理屋 お取次ぎを致し 六千六十圓を献金 公等とそれん 全校の駆魔生徒が と思いお頭いするかい 塩塩粉長の割金二十四個八十一個産業業員川 園である。これを私すべきでない。 持ち寄った金を廿三日本此へ密歌 | ためにおびに立てゝ順きたい」と ウラシマ屋 京城本町二 は母間に異常ないやうに低じますもいほか甘三日本社(高額された 関果としての最高政務をはたす事をはな問題 の貯金とそつくり墓軍動間費にと 五年中間水干型丁さん 一個を皇山忠問責として廿三日本社へ答託した 八条田新藩さんからも上面を皇軍「ち冒記してあつた、この暫年は職別間に /第一線に活躍する基準へ //と立ちららとしにが、日こま「世三日午发一事か」を定院する。で「無際・イはんからも十厘を北支」封筒を出し、机の上に置いてすご」環想決勝点域帥範討察文為沙職は「無際・イはんからも十厘を北支」封筒を出し、机の上に置いてする。 是液态是町一六四、東大門小學校 ノ三元具面ウラシマヤ本版の歴典(何至無治金して第一線に働かして 十四、同じく記述人一同から五十 ん達から三十頃廿鍵 學校の職員や 辛島さん。京城三坂通一〇 氏が五十四、本支店の店覧が五 紙販賣店飲文堂でも店主中村の 第一線へ「京城舟橋町三二 貯金そつくり 金山の純益を 郁文堂 讀者の沸立つ熱誠に應って 兒童さん達 總督に寄託 熱意を贈る せて頂く事に致しました。御店ある方は御流環左くだ 一口一圓以上とし依託者の芳名は本紙上に發表が充分運せられるやうに手概念を繋します、同窓がの新角の誠意と問し、最も迅速な方法で皆さんの折角の誠意のこの金でを御利服できい、本社にては直ちにその慰問のこの金でを御利服できい、本社にては直ちにその慰問せて頂く事に致しました、何波ある方は確認成なくを記せて頂く事に致しました。何波ある方は確認成なくを記 東して合計六千六十圓をお園のた けて出征場上の発音を認めて下さ 役権林松太郎氏から五百個をそれ た部年があった『私は今世呂梨を十九日午前十時回愛國部を訪問し は直ちにその手間を執った ので、本社では直ちにそれんくを めにつかつてほしいと差出したも 果袋番、食所銭、料理屋棚館は結一二十二日午後三時夏飯路を訪れた 受けた米教育補元兵で十七日歩七 鼠が慰撫すると、青年は懐中から 集解除監測を命ぜられましたが、 いふ意味に披騰して来たので總督 道曹礼殿鈴木一敏君 下さい」と測を流して申出でた、既 とて審脱された、かくて新町の 京城墨志町六八中央基督教書年會 九賦院に入隊したが健康上即日召 二十萬圓を突破し一日平均二萬九 六日上り二十二日までの七日間に 時題以來愛園部に過器く献金は十 この意氣 1と立去らうとしたが、中には 数昊氏(゚ピ)は國院献金に四千 尹致昊氏から 萬圓以上の献金 | ヤ、京師先改に開始、十九賢二と | 田(珠)石井、神品(畳)三氏著 部五千間の献金を廿二日到路港に 順、北支の皇東越側に一千回。合 三人進の老婆があった。何か朝師 鮮群の分ら ね原頭は面 食ったが 間で云って削りにおしぎする、例 進内産業に開い時 を聞るため息と態産化して来たる として報明者、 結局項軍将兵の登台を配謝すると して中央部群の『に因んに京選進】 来成職的進行途上にある京畿直で 半局文化の中極として逆制質施以 町遊園組合では二日間を愛園飲金 は産業前に無所の合理的過度強化 側、他の二名は各五四献金して際 百年 ことんと林町県景館(年齢) 町六五六金標準 パ さん・同妹李 いよのだ。この芝獲三度城府昌富 全國中华野球大西州鮮酸戰中央雙 不明)さんの三人で金さんは三十 三老婆の赤誠 京 631784三西中県長鹿森 砂湾片林三西中県長鹿森 7942257 京師芝340203007 京師大勝す 等野球中部豫 的を行る機関と 準決勝--對徽文高普戰 ▲移田自来北人二以六、COC佐 相看自来1、COC沒有:、九〇以 相看自来1、COC沒有:、九二 (一川穀物田入(廿二日) 大三八八番)
大三八八番)
のに車務所を移興した(電話本局
通一丁月六十番地頭雅趣信事業館 新東 八四八、二〇 不 新 鏡 二七八、五〇 不 数 新 鏡 二七八、五〇 不 数 一四八、三〇 不 数 主國於經文院。第二世與第三七國 早町十一時半角長三部最大郎氏型自相を推っことに決定。二十三 現に推成した紀元二十七百年日 自本萬國門がでは副過級に折 十三日午後一時建設を攻で開始、 (全州電話) 中等時孫紹用電腦 (中) 東京電話」さざに映文出版下 電氣協會移轉 明明正司 宣既に死敗首用と言語水路 二十一尉十で獲印農林勝つ 撤文 夕刊後の市况 近衛首相を推す 萬國博副總裁に ▲我公路交5▲併稅京臨1 狸里農林勝つ 法政陸上延期 八七四 中等湖南豫選 10 元 八四 10 近生護康引 不一不不 (O 變安變變 5、物球がボットに漉されたら直ぐにカップに取り分け砂糖を添ヘサートでのどかり消したての濃量の熱濃が徐々に注ぎ込みます。この濃度を温められた土瓶叉は粧酵引のボットの上に持ち添へます。これを柄の着いた布製の漉漉に入れます。七銭郵券製送り下されは5、これを柄の着いた布製の漉漉に入れます。七銭郵券製送り下されば5、これを柄の着いた布製の漉漉に入れます。七銭郵券製送り下されば5、 美味しい珈琲が 野は薫り豊かな 尚ほ御徳用な 置かな味 アイスコーヒーの作り方 害はれません。 にしても少しも アイスコーヒー フラジル珈琲の 先づブラジ お求めなら アイスコー 六〇坪戸れます 純正ブラジル珈琲は全日本の信用ある珈琲店・百貨店・食料品店で さればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいのです。こればよいではないでは、これではないで 封度から樂に 一杯に付約三隻動葬匙に山盛り三杯の挽きたてブラジル駒碑を用ひ 名湖印の 頭痛で 曹峰・ブラジル珈琲販賣宜傳本部・エ・エ・ア ツス ムリン ヒーを なご気が利かれる 早く定評ある本潮を 來てしまつたのです 姑息な療法を止めて 世界一の粉白粉が日 株式會社 塩野栽商店 (一日一四隻布) 大阪-東京 本で出 一治しもせずに…… 温频 の常備として是非ダイモールを思 共他チフス・赤痢の豫防に、腹部 雷鳴の治療に、水あたり、食あたり はします。 痢の場合には實に順座的効果を現 ダイモールをお勘めしよす。 鑑せざも一向拶々しくない こきに 慢性の胃腸病で永年の問題を 急性 い 腸カタールで 腹痛・ド (新聞 素 米) 東東北日本新国本中三丁日 株式 會社 島港 南店 福思線 月、回 作型塔 自石 建建造 国 作型塔 自石 建建造 国 在世界 作品 经工业工程 起去并加點亦言 を確した。 ででは、大槻と、大槻 では、大槻と、大槻 **河川湖河湖田區** 测兴 K

開が講覧であると同時に、壁の手 | △△読記報仕組鉱有名なものなり △光明な一週に一回は必要です」に続い書で充分高かしてから関ひ なんて、さて、お化粧と着に効果があります 灼熱のも 大抵開遊びはありませんから初め

するのが説しくする要似です も用意してをき、毛を装むすうに

維菌を持つたら、履切りを忘れ らかに奏でられてゐる衝頭に、石 軍國の 肚んな行道機が高

能のみつ豆 ますがら、御婦人ない大好物の雛きます。甘いもいは態労を恢復し ておくこまよろしい、さう!(水砂塘もかさばらず、しゃぶつ ゆであづきなどもよ

通りの内外用板に棚で、それに 食料は、各員の明好に能じ、際 、命いときは実験がの

| 脚・座石も思れてないねもの らものは先づ水筒、ランタン、

いついてあないもにが

あり、生の娘に古いと中

どは非常に聞く消化が回難 あり、贈も佃煮、時雨煮な

化で、子供の戯便に程の低れらもろこしは極めて不消 消化されずに出て來る位で 工蜀黍ご蛤

級話

やうに見えてメポンになってある

食あたり

ラウスで、脱いだり着なサーシなどの毛織物のと

初心者の常れる程度の山ならば

靴下はスキーの靴下のやらな以手

のもののはらが足を痛めません

たズボンでなく大 洋版は男子のやら 音をしらべてみませら

御婚人の初心者を中心に

既る程度以上の高山に独る時はしも、曲り

以上で一人前の登山服スタイルが

柄の杖が使利です、大闘

せんから、合服の開託文は是非合 のうちになさることをおするのし

それに高山

りますが何めての方の山登りに

めて登山する方の

忘れてならぬ携帯品



第八局

国土〇六三飛道の局面

北角

ISEO TO PP

録

りを一張り歩いて干人師をしてゐ。を、身につけてゐると薄んが書らりを一張り歩いてら京塚本町道。 野づゝ千人の手で縫び結んだもの一情景で微楽しいものがある。 喫 これは寒するに一きれの作品を一 中にも何か女らしい優しい軍國のこともいはれ一種のおまじなひで 千人針はまた「子人結 觀戰記

鋭い九五歩の攻め

次 段 飯 塚 勘 一 郎

ウラルゴー

ルの種類と價格

彩点 四生

HCO

英米佛製法

四時四四十八五分

先手決戦の六五桂を逸

全鮮に反響及ぶ 普校の参加も多い お申込は明日まで

一高女の響気で開催する本、地方ないも沙敦の毎旬もながらて日から飛行まで四日間、「胃神、抗り治・単川、発北井島女ど 地力ないも少数の毎川由人でかあ

武士伽果原牛島武夫氏の唱歌行動

全節から 一歩前進 秋半服半は半今半の半中半に 高物價時代の經濟學

思でもこれからの社文は最も いわけで、あせらず急がず人念に この秋は雅人品鉄路に年上洋服 ない、といふので、迷宮といつて 出でたものであらうと他の本には 無熱売左戦の弾丸でもこれを買く 度は大量を繋ぐなどとの壁と同じ 説明してゐる、元來は一針種つて 仕舞へはそれまでだが、

で、いそがせれば、仕立てにも手 ものは配も高くなつで居ります かに決交するのは一番下手な方法 着なければならぬ季節になって 第千人野・町む八も朝まれる人もびいが三十人野になったので、無 つて行くやうに略されて『干人結 や知人になる人が心を簡めて一野婦人に限られてゐる。これは戦隊 は結びしたのが後に唯一針づく縦

> 然しながら、内服蘗にて 著名の専門翳にまで使用さ

季節のものでないものを註文す 街頭に 出て近行く婦人に

人も出張うる軍人のために快く承 これを頼むやらになり、頼まれた

つてゐる情しらずの成分は デーさん方の肌に塗ってや

個へてをいて、風呂上りに 最も時は常に行しらずを

手≣主 帖臺婦

て、アセモの上に軽く叩き 費りをつけっために否水か か丼に入れてよく摺り混ぜ **け知らずの拵へ方**

体亜和一の別に買って片口体亜和一の別に買って片口

ともかく今はからした仮はし の北支事既になつた次第である

び来る政がにもひるまずに、雄々 てない女性として、明夜の如く

國防の第一級には自ら立

製法特

的に結合して粉末とし、此の粉末は直ちに富い色素劑とも、獨特の方法により化し、吸謝が強き特殊の銀劑と粘膜深建とは、吸謝が強き特殊の銀劑と粘膜深建 帝解する極めて薄き皮の細を管中に入れ

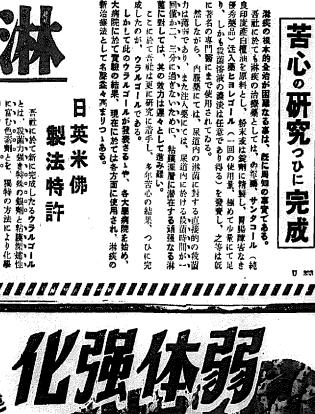
間にわたり間断なく殺菌深遠作用を持機 故に此の瞥を尿道へ挿入すると、

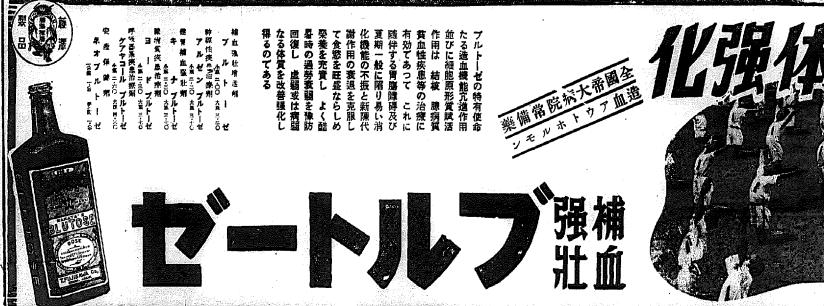
府と雖も、遠かに排膿、淋絲を消退

療治新の疾

用されたし。一般染早々の患者には、短管を使

に短撃を、吹きに中鬱を使に短撃を、吹きに中鬱を使成は再發性の患者には、





藤澤友吉庙店 章城市 西小門町東京市日本地區本町大阪市泉區 住職

栗種實品商 發賣元

東京市日本橋医本町三ノ 田

6受元へ呼ば交あれば、西境に限り代金引換にても進ちに政権が必然乃びデバート戦品部にあり。 答し品切れの時は進い対策をよ

(穀蘭作用荇擠時間。一本にて三時間より六時間)(徳用に要する時間。一本僅かに二、三分)

間崎元陸奥艦長の大發見

五百萬圓程度で **大同江の運河化**

水飢饉南浦に朗報

なり、済州、俗雕山、同州方面の云る十八日午後からまたも薫削と

|水||一去る七、八兩日二百條||

報恩に豪州

の豪雨に見舞はれた張恩地方は

小作人変形式を懸行したが変数。生徒、その他斧脈鎖数百名が新寫「取内脈斧列底や用が立ったるトレー」とし、続作組合管理で開闢、同時に優しる十九日午後四時から官民、聖校| 権谷面 是更法 【末同】 | 世紀された

生徒、その他各職職敢百名が新萬一郡内職分削長的相が氏に去る十九

夏休み始まる

盲目の講習生が

點字に綴る謝辭

北鮮鍼灸擦講習所父兄會

- 功勞講師を表彰

新らしい問題が投げ出され近く網線管局で後続されることになった 河川線を観く火柴し、なほ今兄に野神に気ての撤退者を添ち大佐自身もこうした方面の潰瘍が深く、水和艦の府民にの歌沛松についての塞易しい神政を一部行歌者に跳り一大センセーションを匿載してゐる、大佐は現職な時世祭の各 (諸関領)府の郊外文文里にリンゴ航を登み除生を奪ら土に観んである元韓夏威長海軍大佐川崎高氏が、弘虹大同江

阮洞里附近に 、堰堤を築造

「銀仁】都内閣東面新嘉里では去」式は形の如く股脇型に距ばれたが「羅方を埋元式が近く當局に陳情」。 「永同」 詳調中内排水源設置の金

六尺の大龜捕る

甲には貝殻や海草が一ばい

西湖津沖の拾ひ物

する認識強化と時局に超する覚悟 工典通校長を招換し北支事職に對

國威官揚祈願祭

別州 那子館譲から配低した金

軄州面長校長會議

智生の父兄領は廿一日起輸送を即 一同を影響せしめた。因に父兄會は成果 自人生徒続代が派字の別級の群は「成果」 公認北非線次接機関所語「自人生徒続代が派字の別級の群は

四川江を利用して大貯水池 當局に檢討を依賴

が容易であることが先用來の所の、現在よりもうんと上流を測行用來 既が魏く六十米除しかなく、しか。は完全に水によって結ばれること。百四十九回の増加、移出人間は七一 避して下強から押し上げてくる欄| 可能と大陸の慰客がつけられてを髙鴻瀬時より一米依高い根域を換| 通礼戦後 (五百萬圓) 様医以内で 間橋大佐の窓によれば、こゝに限し計算されてあないが恐らく平規型 湖上年土均茂定地帯の中央を流れ、岡地に跳す利便は英大でこの姿頃 ソクリートの環境を受賞すること。底に間門を設ければ完勢であり且。た即年より九十八萬八千八百四十ら近底が樹麓であるためこ、にコーになる、大郷沖船の遡行も監獄堰、育士八三千五百五十五回。これま 一大道調査隊により弱在されたが 而を駆き止め、一方こくから「頼田」り、これが若し関現されくば小南 水池を作り工数用水と飲料用水 | 翌して概ふことになつてある社に確し込み更に四川社に一次 | 館から中郷土木局に持つてゆき研 「可能と大量の見容がつけられてを 得る結果になる。世用の點はまだ したい、同繁は近く大師南山相成

本年累計千餘萬圓

海議領は移入部首四十一萬八千九一安、石炭等で一方内地関級は移出 百二十五萬九千四百二十六風 九十九萬二千百九十八圓を示し米 一十六周秋田郊入十四萬五百四 | 五十二萬四千二百六十二面、移入 微増を見せた、上半年の緊急はあり出は前年間間に比較し六別一分の 及豆粕の物出が活況を望し六月移

る愛國

相つぐ銃後の献金

福州一海州佐における六月中の一のは非政系を発取として改類、硫

2年一月以降累訛は干自三萬九

八萬六千七百二十四回で個人の路 |對外國別級作権出二百八十二萬||新議州||新議州港の七月に於け を示し結局と半年緊託領は輸出人一 を示したが移人は三朝八分の増加 萬個で移出に於て二列六分の被退出百五十七萬國、移人五百五十三

日販在の関防飲金または直軍部間

自動の根拠でにより年初成分の数 及び明線江水路によっ不正常輸 職を示すに至った、同群の惨川 難への精神間に入り六萬間の出 通ぎて入超細からいよくし出 傳道本部の回答を 九月まで待る

退を度想されてゐたが、駐前総計

辿り全時能に輸出設地の収扱を抵

上内知事から發表

崇實校の引繼者韓氏の態度

する院諸国的近は大同江中一番橋、巡が非常に便利となり平根と南浦、町、敷華より三百七十七萬八千四差1部の上部で帰山との中間に位。る、距に間凹の歌師により小恕州、に於て三千五百七十萬七十六百一 た助学より九十八萬八千八百四十一去る十九日午後一時から總額を埋占十萬三千五百五十五回。これま、「陰明」原草小寶人協放支部では 大規模の水利施設 各質公割では時島棚これを膨止し最中半ドンの期間に入つたが稲仁 る研奏州語の地理的重大性を維新 「龍仁」去る二十一日から直観は 煙草小賣人表彰 龍仁も勵行

黙で一般に観覚させてゐるが甲にほすでに貝集人り込んでゐるのを観覚、御髪に目下大陳集)に廿日朝身喪六尼近くののんきな大郷が

リと戸臓を水面に現し妙な愛嬌をよりまいてリと戸臓を水面に現し妙な愛嬌をよりまいて 模類や施草類が附着しをり首廻り直催去へ

【成果】 西湖徹原電下の大熊綱(今津氏經

が八鷹像町歩に建してみるが、道一殿することが出来ない「黙黙に置か」七ヶ所一干二百三十九町歩像の四一終三十九鷹六千町歩でその中水田「江西四部の四鷹像町歩が鼻梁から「千五百七十三町歩像、その他五十一線1 ではその確認施設を完備すべく土 れてゐる、しかして今日までの土 | 英三干除町步に過ぎず残りの四萬 | 【中語】 平周近内の耕地網面積は一も早割を受けてゐる平威安州離岡 | 人紀核七十二百九十六ヶ所二萬二 | 例年旱害禍の四萬餘町歩 **半南に昻まる要望**

【二川】銃後に渦卷く赤心體(二

版を平急に施行せざら限り修年説「千六百九十六町歩像、局上院設置」の水利施設の緊急が出りつくある。例を平急に施行せざら限り依年記、千六百九十六町歩像、城岡東北、で図古地湾安定の現地から大東線しかしたがら昭和水利の如き大東。所一ヶ一萬一千町歩像、城岡東北、で図古地湾安定の現地から大東線 地田良事業を観念極工中である。「地田良事業の跡を見ると、水祖十」除町近は年々早客が拡大であるの

感激の嵐

の離くなるのが成土通も流着した。中には蛇着する見込みであるるものがあつて見るものさへ眼頭、が測練用のグライダー二数も八月 と含々何々面を吐く如く書いてあ 続きへく証拠の報償を急いであるたい 同盟では八月中旬迄にも訓練を開

アンテマと演劇

||百五十四計七百四▲同店々員 | 朝職忠北線修復億所二十一ヶ所に | も現金取引を行ふことに決つた

に受けて青年航空間を結成したと と言々で (平域) 観に残が軍都平壌が全部 たい

福島團長も驚く入團志願者

八割は半島の青年

、報國の大望

はとり長となって、 地方は別様なとしまつ之。 「東京観光が輝い込み、低に入土名、 か音後指置に関し続に関もので、 原志観光が輝い込み、低に入土名、 りたることを報告してきたので、 原志観光が輝い込み、低に入土名、 りたることを報告してきたので、 地方は別絵楽報地からも覧々と入

とは時局術全関的に大きなセンセ

新島の関以下依認はこれが整理に

裏面)は飽らに丁事季節を逃する

ので観覚側の落蔵を含いでみたが

5.丁草も紫水、麒麟の歌舞も紫水、東海・四種ニュー ちでは、東海川都に建設中のとこ に大ス、ギャグニ カース、ギャグニ 八月初洛成式

北鮮支場

カタル かりばら

▼全図各郷店に販賣す

胃 はら はら はり なり

製を避けるため同観の具層計画関・第回を展出しに八月十三日さで各「議園」活議員通鑑演者製設との製・第中の保健を図るため二十六日水 製資路(延長十斤三、工覧六十八)施すること、なった製造路(延長十斤三、工覧六十八)施すること、なった 鐵道側と交渉成り 愈よ來月から着工

食過 食物

手前の被政場所修理に手間取り限 から復興、漬州、忠州間は内海院 絵果、清州、島体院側は廿一日 | 行脚をすることとなった、日祭は

は思北道内各世路も無次世級問題 の運転に高速器なきを励った。な 楊琴與官講 【水原】郡國明義郎では二十 水原國防義會

歌。 過

慶冷等からむる

底させて銃後の層民としての芸悟。即立地費却の他共他について閣職 非常時間に成する方針、原則を從っては廿四日午後一時時間を指撃し 【清州】忠北道な局では百萬敗以、你修通動を開始することになった 武の解缺と明政を決定した後、 午町十一時那處で伊は節川間、役 てることを開題一致可決し思い本

こんな時はヘルブー

俸給の天引き 絕對に廢止

[全州]低報至北直腰機関の保給 | したので八月二日午前十一時から うどん一はいても 今後は現金支拂ひ

二、三韓の常用は唯胃難關に効あり

際情勝だぎした

変せて元家なき人なは

一度へルブを飲みよ

の國民としての赤誠を念践に替へ 道民の愛國心は果然燃え立ち銃後「補州」北支事態動態以来、忠北

闘する際庭を任命し用互能能をと一にならぬとも取らず、また月に一し、郡、繁衆署、高に二同事務に一止ではまかり開第へは實るだけ振は信務局で一鵬収穫のて証む原置」がら、さりとて開発器行の類金票 止ではまかり間違へは置るだけ様。川郡龍野尉曹では二十一日から来 関か多くても五面位の辨常代を一十分づく小塵役感でラデオ関係 にならぬとも限らず、また月に一

理なことなのでこの根拠保養者を 集これが対策に付き協議の結果日 伊豆少將講演

【清州】既報、十九日夜の歌雨で

本各人の家庭を訪ねての集金も無

から

腸胃カ

タル

復を速め俗意を

消化吸收力の恢 胃の細胞更生と

去り食慾を進め

傷つき爛れた腸

惡疫 危險を防ぐ

きくだし はらなり らいた くだりはら らいた くだりはら が、冷腹、水傷 、水傷 五十銭 等用 二十銭 等用 定

本部 津村 敬天堂

宮內省前侍醫柏村博士創製

旅行 必携



| 旧神郷前に備まされてみたところ| の無理な関係に複数を駆化させて | らよな今非中将の要は野肚そのも 今井參謀次長 總長宮殿下の御言葉に 病軀を初めて攝養

呈軍用兵

でも動物大見今井前中将は郷化な。一日は保護から徹底までナニ日と、そろり(一と四十分からり、漁湖、大参戦大量の貢献を示した棚で、町日を中外に総視してあらが、中一にも城らず態然床を戴つて起ら十、参郷本都まで三年の遺を自動地で、院参戦機器は欧下をお細け申して娘切な方法を譲じ、よくな軍の属「財政線を必要とする」と診断した。谷師守田川町の自宅から三宅坂の「來る風術を片2戦から周地し、閑 る人校を分だず活動して緊急 起るや、主治腎臓田単野大尉が一般。布して痛を無切つての勃動に、迷からあとからくと軸を標に出てへ離過値における不法財務が他が、しまつた、きりくと離む層に跳って、それでも中野は深い異任態

愛國の美名に隱れ 十三日 も早晩から夜 中さで、こ 本部の階級を人材に設けられなが一緒を危険下から てつめまりはやめ

サイナシン 吸血思退治

生命を賭けて

ることになつた、右の事例と前

軍務の手傳ひを志願した 愛國の義勇婦人達

國婦人の情熱に照謝した軍背局で 下さい』と観の決意を接騰した愛 は、十七日から龍山〇〇部でこれ て銃後で軍務のお手腕ひをさせて て謝後で軍務のお手職ひをさせて」(葛展は武器の手入れを手傳ふ載『第一縦に起てない丛道女にせめ)臓の線穴と作烈することであらう

飛ばし、この際に罪じて資策を高 機の伴奏で北支事歴を確に流言を 面百年金山で十数名を築め、蓄音は、去る十七日京殿道廣州郡中垈 三二五番地質銀行商人金春像でき

憲兵隊で徹底的撲滅

く頭りつけた事實を龍山散兵分隊 ら愛四婦人の労働奉仕を受けてゐ や、二十師廟民器館長夫人松尾と 作日二十名位の国防船人館取

を贈ましたので、大田蔵兵分除で活動を知つた孫は風を喰つて行方

關べを進めてゐる

尿畿道廳にも

数拠の五班に分ち活動させる 各家庭を説い

り配つて來たので懸むした部司氏 機を履け名を告げずに立ち去つた

人があり、月給に佐のまくそつく

型師を購大に行ふべく決定した

弖沚

の意見をする外間日は双東山の歌

拾ひ主が判らぬので困つてゐる が金一封を何路器に持つて來たが

バス河中

幼女二名無残の死

朝

際操縦を通り架容三名を乗せたま

ま五十齢川河中に顧覚して、態物 関し江口の難し国にさしからつた

盛北七七八號を運動手金融守が川

手加撃その他一名は敦助されたが

が落しもに返してくれ」と右の一で戦事的を開催、三日日に五百名 | 一一 | 初所を尋ねると 『関は師 路名は | 三日午後七時から黄金町花月食堂

清原元少尉假出所

それを武納在昌炫女史 猛雄氏次男元步兵少尉清

- 乱都、単歌、心脈質で大蔵」に配名を取つて、怪しげな前火器・光に非國民だ々と脅迫して驱刺を関脱されて北支半腕が突続す。魔み、神道された滞である」と「20つた人々には?消火器を異はない。一般間自善日本研火層が外辺。にも「自力な道義経節から時間に「を高値で致り附け、若しこれを輸一

になった、何その編成は左の通り 職正く起原式の後征訓練を行ふ事

兵働骨計縣長、開員五十八名を

傍ら 社商事業 に献身的 努力をな

女の手で同學院を経ち

火器を賣る

買は

と

著
を

非

國

民

と

脅

迫

し

身邊の急を知り逃走

にはより開発されてあたが、この ほど甘州知事の普頭で難ば中五十

の機関組織さる上京機道では非常 でいまで離らうと京遠道殿にも

局に際し防御器を組織せよと全

いざツーといふ場合教等の概含は

女史ではは四極と聞いつと雄々し、家庭を訪問しては時局の歌鶥を吹京城上往十里町大昌殿院長祖昌戏。自するや郷先出際献柄を決心、各 器を飲納しませら」とこれを節行 させては取り集め、または自ら同 家庭を訪問しては時局の認識を吹 込み、『私選は仮米を節行して印 要院の生徒と一緒に配頭で酵器の一種で棚里に向ひ、 『これは九百八名の各家庭から飯 で既けてゐるが、廿二日夕剤まづ を行函するなど映ぐましい活動一時五十一分順本記載 一小質刑務所を出所、郷兵二名附き 添ひ、午後一時三十分東京院務列

軍國氣分の蔭に

惡玉頻に暗躍

京城の防犯陣強化

の二名は無疑にも西死した

玉聞さん(*)、次女・聞さん、*

感くやりきれない、二十二日は

双柴山後援會

部的(限入診療)なほどでは を単化、十四日には控制的の「控算の気化に劣めることになった

拳銃や猟銃の

所有者へお布合

がるる献とついて併門各型には去「郷郷」など晩年なな歌手枚を初めがるる献とついて併門各型には去「郷郷」など晩年記されたが取入は本・北子祭作品の職心がこと「郷に」(被歌品は歴史されたが取入は本・北安の寛美が急見を持ぐるに従い)には 光照町の発展質楽館戦 事物

持する一千二百五十三名 (京城府

各方面に反響を呼び同好者の來食

大田で卅四度

一日夜はなんと36度强

想へ!皇軍の辛苦

大田〇〇〇隊北支へ

智能内政権上海 一にオートバイ 一乗つて展開町一ノ六七先を通過 **杏堂町** 同日午後七時半ご 解訴体に、をはわ飛ばし全治二 一供を避げんとして新設町三七 の境市だ町一ノ一二八八八時油 交通事故二つ

的疑詐欺的疑訴欺

野球中央像業

介札

難京商準決勝つ

及二十四日ノ朝 で、二町外四根 で、二町外四根

過中、新樹町一六二宗院順つ、一をは荷庫を削いて杏松町五八先を通 つ京城西森島里IIO六孔園ぎでら) **鄭新居矢島郡一〇三方に、同町内京城府内元町一ノ八九食料唯筑店** 片田歯科医院だが牛肉縄品 資格金九十四と十回札での釣鐘と

五千餘山紛失 四十歳位の鮮人用が同家の裕と荷道路で、白ワイシャッ白スポンの 語があり、同語では面で形成に出 引起し、呼び醍醐を持つて片田方 郷三個を光熱持つて來るやらに注 させると、前記片田曽科院院前の **交通り舗貼と釣銭九関十**理 を用いして持つて來て臭れとの電 又したので原

出でた同盟では目下個人拠近中で ある たことを知り慌て、他山地に国 を訪ねて初めて釣り作歌にかり ▲湖台時間三時間二十分▲流流に、山海一

| 関民あげて緊脳の昨今、これはな

うつかり男

南咸平郡が協向瓦山里端葉敬迎典しんと不始末な男もあつたもの、全

四十五分の間、荷御町一六四日光 若(an)は廿二日朝十時から同十時

鐵道 馬務、殖銀 級

軟式野球京城豫選

切れならな百風札ばかりで五千四一 脈解から京城原まで行く間に手の

つこうでは丁号、引きはこのでは丁号には一次になる。「「「「」」には三日年後同町四九五済地に「「「」」には三日年後同町四九五済地に 水泳中に溺死 到等で線道度粉磨つ二氏、線道度粉磨の光球、深野(壁)

0000000

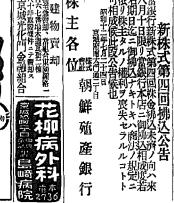
けの三日間

今生の別れ

つたので本町署へ同け出た

柔道 午後四時―五時(韓道前) 例館本部署中和古は八月一日か 武德會暑中稽古 銀巻 2000100

に顕落 写出 "午後一時—五時(武徳) 例道 午期—五時(歌話歌話) 例道









宮脇農學博士 御指導 代理店 新井 五瀬 票

口本小兒科學會一點一搭放一個推遊

用

の御用は

輝店 吉川洋行へ

手洗、便器何でも取揃へ(●マークに限る品) 劉 豊 富良、價格低廉

キャン、キャン』といつたか

らか知らんが本町署官内で

胸、株、式、會、社、代、理、店、大学技術員差遺御相談に應じます、次第技術員差遺御相談に應じますります。

際、本町署では来る人

大学 イル問屋 吉川洋行 原 株式 會 社 代理 店場 本 代理店

けふの天気

と乗り

淡皮 尿膚 料料

院醫野宇

特二

原 **建 婦 人 科**

(電話竜山|0||五番

本市丁自然的成员会会是**超大大学**

+

ESTORY AND SEASON OF THE SEASO

※ 中口 条 氏

たき方にても可なり希望者は本人 地 年齢二十歳前後超線 地 不必認知と問題用

しの 100 HL来 新元 出版

店

佐瀬町とこと 様件御一般下されば恋場 京城本町一丁自五三美 高峰無機関係 湯峰無機関係 湯峰になれば恋場 湯・高の地の一般であれば恋場

版 第 具 平 本 其 市 報

の無利官川の

+